

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】市原市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
32	2009.2.27			千葉県	市原市	280,199	368
構想の要約		市原市には、多種多様なバイオマスが豊富に賦存することから、上位計画や本市の特性を捉え、4つのバイオマス利活用ゾーン(ハイテク・アグリ・ウッド・フラワー)を設定し、あらゆる変換技術を駆使してバイオマスの利活用の展開を図る。					
構想に盛り込まれた事業		1. 生ごみと汚泥の混合メタン発酵 2. 木質バイオマスの利活用 3. 炭化 4. バイオディーゼル燃料化 5. 竹の有効利用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材			
廃食用油	○	果樹剪定枝	○		
水産加工残さ		竹材	○		
製材工場等残材		その他(被害木)	○		
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他( )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(セメント、木材・竹素材利用)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.5.11	2009.2.27バイオマスタウン構想公表(JORA協力。BTアドバイザー研修地)

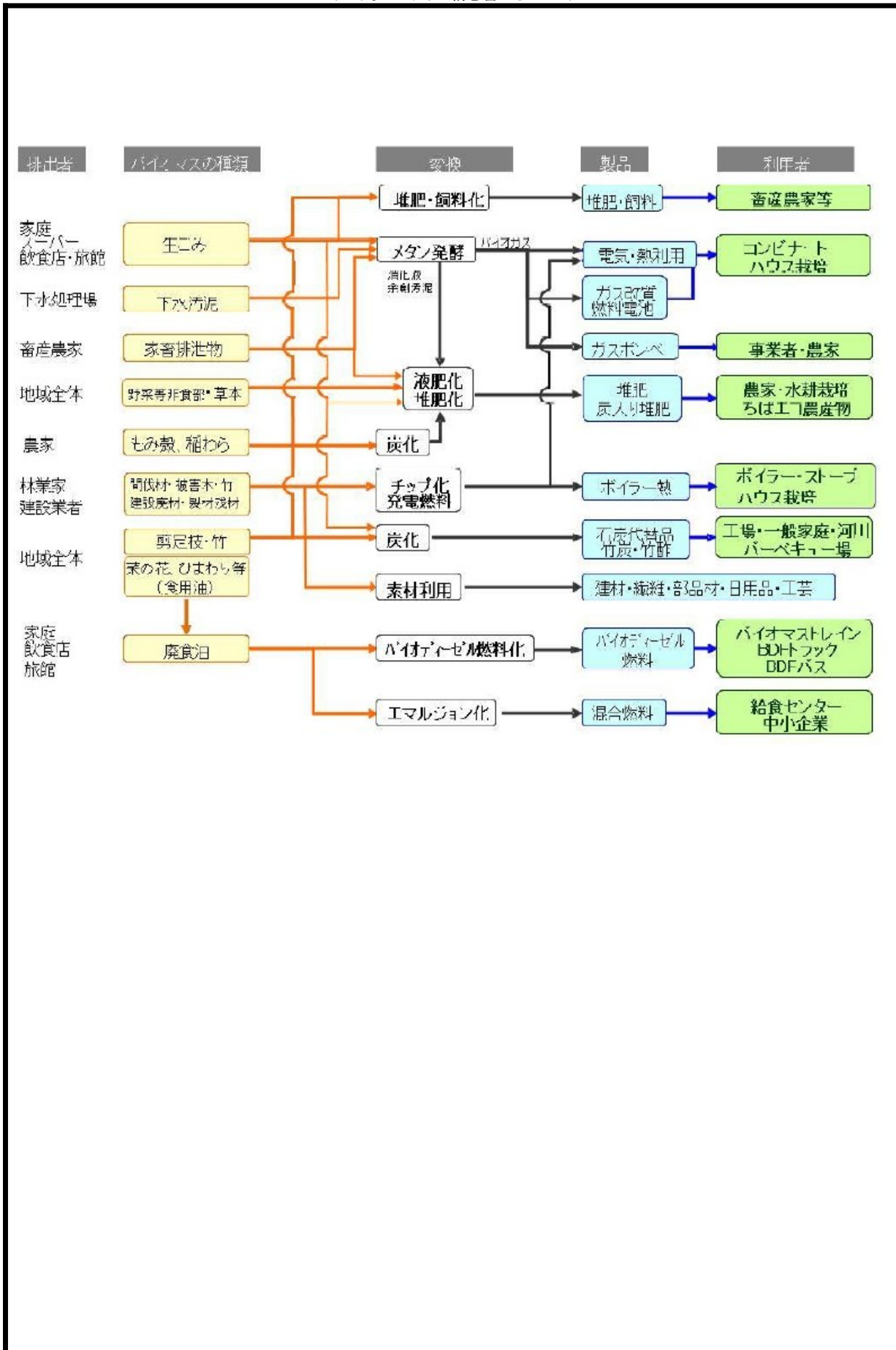
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス		賦存量(*16)		変換・処理方法	仕向量(*22)		利用・販売	利用率
		湿潤 (t/年)	炭素換算 (t-C/年)		湿潤 (t/年)	炭素換算 (t-C/年)		
<b>(廃棄物系バイオマス)</b>								
畜産系	家畜排せつ物	56,316	2,453	堆肥化 メタン発酵	56,316	2,453	自家消費(エコ農産物生産) 相対利用(耕畜連携) 堆肥の販売・利用 電気・熱利用(コージェネ、燃料電池)	100%
	生ごみ	29,977	1,325	堆肥化 メタン発酵 炭化	29,977	1,325	堆肥の販売・利用 電気・熱利用(コージェネ、燃料電池) 水素生成(メタン改質)	100%
食品加工残渣	産業廃棄物系	14,300	632	堆肥化 メタン発酵 飼料化	14,300	632	自家消費(エコ農産物生産) 堆肥の販売・利用 電気・熱利用(コージェネ、燃料電池) 水素生成(メタン改質) 飼料の販売	100%
廃食用油	事業系	1,480	1,057	燃料化(エマルジョン化等)、バイオディーゼル燃料化	1,480	1,057	燃料利用(バイオマストレイン、トラック、バス) 熱源利用	100%
	一般家庭系	440	310	バイオディーゼル燃料化	440	310	燃料利用(バイオマストレイン、トラック、バス) 熱源利用	100%
木質	建設発生木材	6,200	2,730	燃料化(チップ化) 炭化、堆肥化	5,580	2,457	発電・熱利用 販売	90%
	家庭剪定枝	3,853	858	燃料化(チップ化) 炭化、堆肥化	3,468	772	発電・熱利用 販売	90%
	街路樹 都市公園剪定枝	385	86	燃料化(チップ化) 炭化、堆肥化	346	77	発電・熱利用 販売	90%
	ゴルフ場 枯枝・枯木	14,203	3,164	燃料化(チップ化) 炭化、堆肥化	12,783	2,847	発電・熱利用 販売	90%
	農業系廃棄物	果樹剪定枝	480	107	燃料化(チップ化) 炭化、堆肥化	432	96	発電・熱利用 販売
	被害木	1,667	363	燃料化(チップ化) 炭化、堆肥化 素材利用	1,500	326	発電・熱利用 販売 木材利用	90%
汚泥	下水汚泥 し尿汚泥 農業集落排水汚泥	12,335	1,188	メタン発酵 堆肥化 液肥化 炭化	12,335	1,188	電気・熱利用(コージェネ、燃料電池) 水素生成(メタン改質) 堆肥の販売・利用	100%
農業系	野菜等非食部	14,100	1,150	堆肥化	12,690	1,035	堆肥の販売・利用 自家消費(エコ農産物生産)	90%
草本系	一般家庭刈草	20,092	1,643	堆肥化(副資材)	18,082	1,479	堆肥の販売・利用	90%
	道路・河川敷・ 都市公園刈草	2,006	164	堆肥化(副資材)	1,805	148	堆肥の販売・利用	90%
	ゴルフ場刈草	24,213	1,981	堆肥化(副資材)	21,792	1,783	堆肥の販売・利用	90%
<b>(未利用バイオマス)</b>								
農業系	稲わら	13,449	3,850	飼料化、敷料化 堆肥化(副資材) 燃料化、炭化 エタノール化	6,725	1,925	農地還元 畜産での利用 発電・熱利用 販売	50%
	もみ殻	3,213	920	堆肥化(副資材) 炭化	1,607	460	堆肥の販売・利用 農地還元	50%
林業系	間伐対象木	4,879	1,061	素材利用 燃料化(チップ化) 炭化	1,951	425	木材利用 発電・熱利用	40%
	竹林	6,000	1,071	炭化、飼料化、素材化、チップ化等	1,200	214	竹炭、竹酢液、飼料、素材等の販売 熱源利用	20%
<b>(資源作物)</b>								
-	-	-	-	-	-	-	-	0%
廃棄物系バイオマス		202,047	19,211		193,326	17,985		94%
未利用バイオマス		27,541	6,902		11,483	3,024		44%
資源作物		0	0		0	0		0%
<b>合計</b>		<b>229,588</b>	<b>26,113</b>		<b>204,809</b>	<b>21,009</b>		<b>80%</b>

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)